

I 前提条件の整理

- 1 区の位置・面積等
- 2 人口等の動向
- 3 財政の動向
- 4 区の公共施設を取り巻く環境
- 5 全区的な公共施設の概況
- 6 今後の維持管理・運営に向けた
全区的な課題

I 前提条件の整理

1 区の位置・面積等

○区は、東京都の東部に位置し、隅田川と荒川にはさまれています。区域は東西 4.77km、南北 6.12km と南北にやや長く、面積は 13.75k m² で 23 区中 17 番目の広さです。(図 1-1-1)

○区の中央部を流れる北十間川を境に、区南部は、大正 12 (1923) 年 9 月に発生した関東大震災で大きな被害を受けたものの、その後の復興事業により、現在に至る道路網が整備されています。一方、区北部は、全体的に道路網の整備が不十分なままに市街化が進行し、防災上の課題がある反面、下町情緒を醸し出す古くからの街並みが残されています。(図 1-1-2)

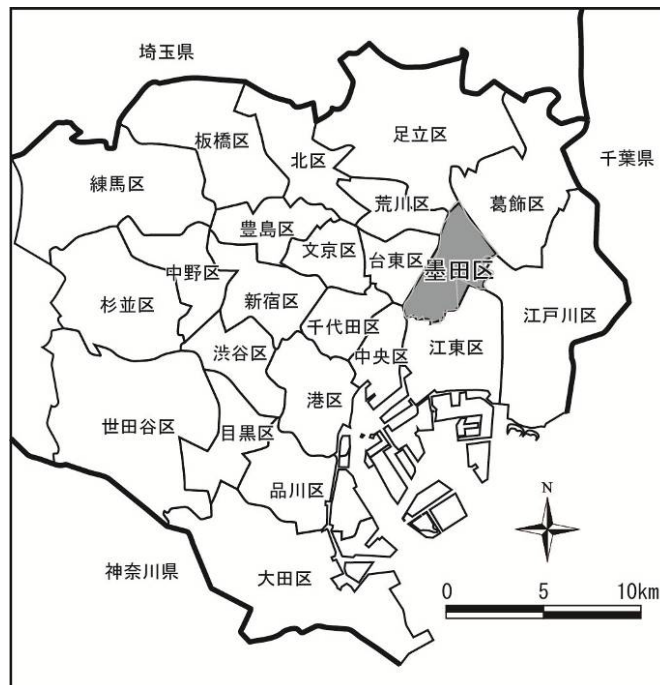


図 1-1-1 特別区の位置

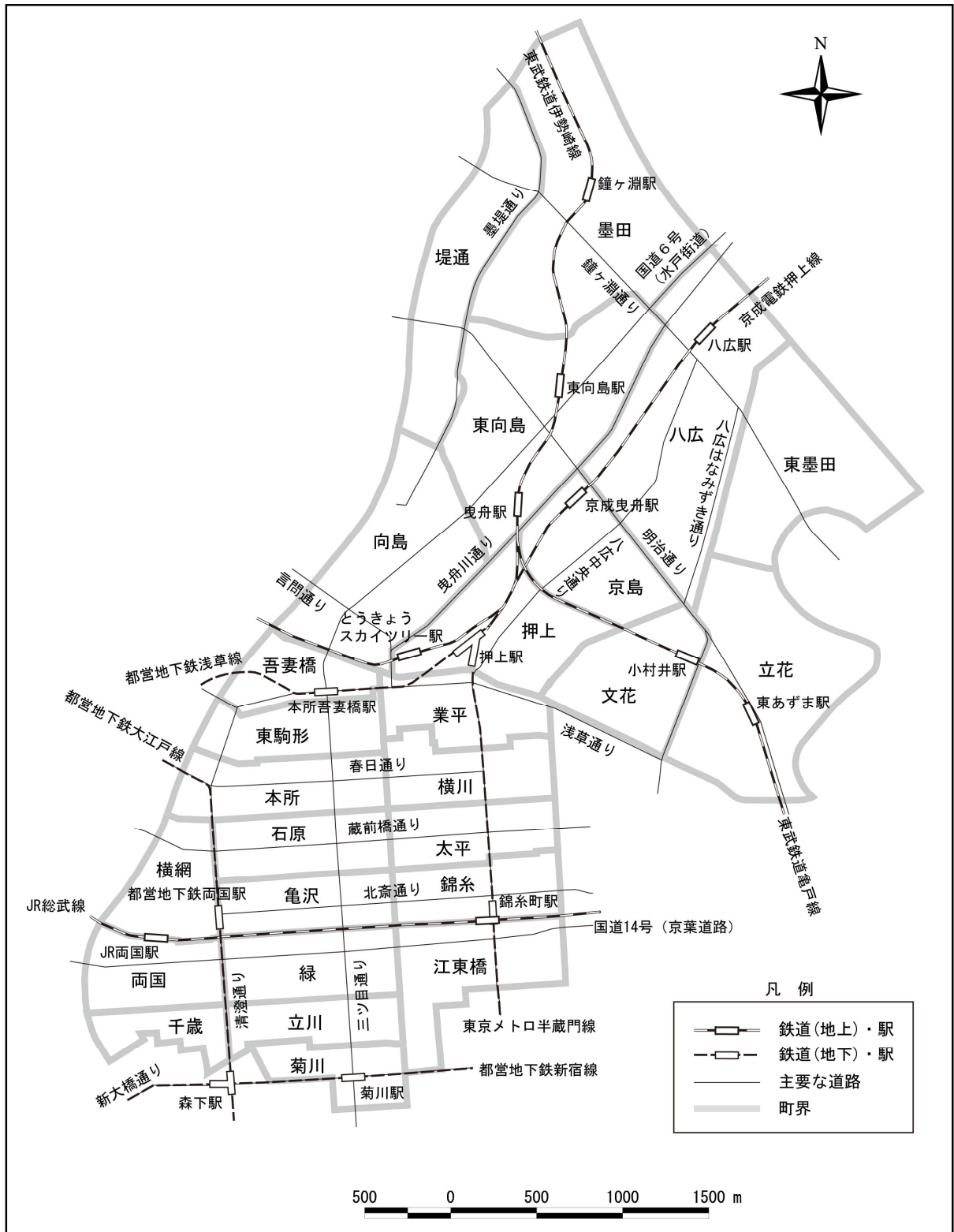


図 1 - 1 - 2 区内の概況

2 人口等の動向

(1) 区全体

①人口・世帯数

—都心回帰の流れの中、近年人口は増加しています—

○国勢調査による区の人口は、地価の下落や工場跡地を利用したマンションの大量供給等により都心回帰の流れが進んだことや、平成15年の東京メトロ半蔵門線の開通、さらには、東京スカイツリーの建設開始などと相まって、平成22年には247,606人と対平成17年比で7.1%（+16,433人）の増加となっています。（図1-2-1）

○世帯数は、概ね一貫して増加しており、平成22年には120,797世帯、対平成17年比で12.2%（+13,096世帯）となっています。なお、区の1世帯当たり人員については、全国的な傾向¹と同様に、減少傾向が続いています。（同上）

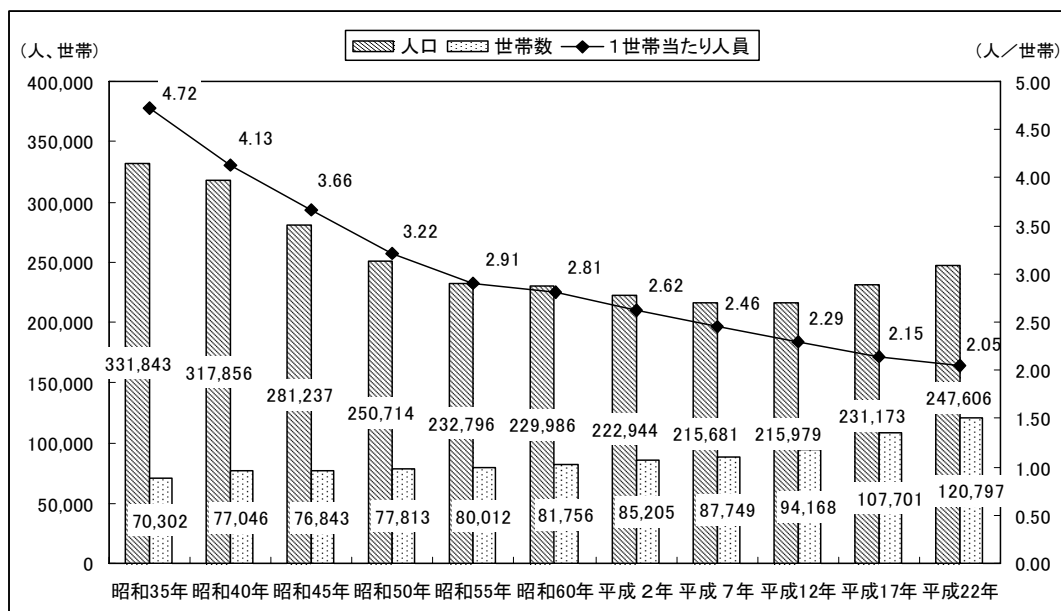


図1-2-1 人口・世帯数・1世帯当たり人員の推移

出典：国勢調査（各年10月1日現在）

¹総務省の「平成22年国勢調査結果 人口等基本集計結果 結果の概要」（平成23年10月）によると、平成17年～22年の一般世帯数は、世帯人員が少なくなるほど増加率が高くなっており、世帯人員が3人以下の世帯ではいずれも増加しているのに対し、4人以上の世帯ではいずれも減少している

②年齢別人口

－団塊世代の加齢に伴い高齢化が加速しています－

○年齢階層別人口の推移をみると、近年、全国的に年少人口の減少²が進んでいる状況の中、区の総人口に占める年少人口の割合はほぼ横ばいとなっており、年少人口数自体は平成17年～23年まで増え続けています。(図1-2-2、表1-2-1)

○一方、老年人口は、特に75歳以上の人口数が平成17年～24年で1.3倍以上増え、総人口に対する割合も平成17年の8.5%から平成24年の10.5%に上昇しています。(同上)

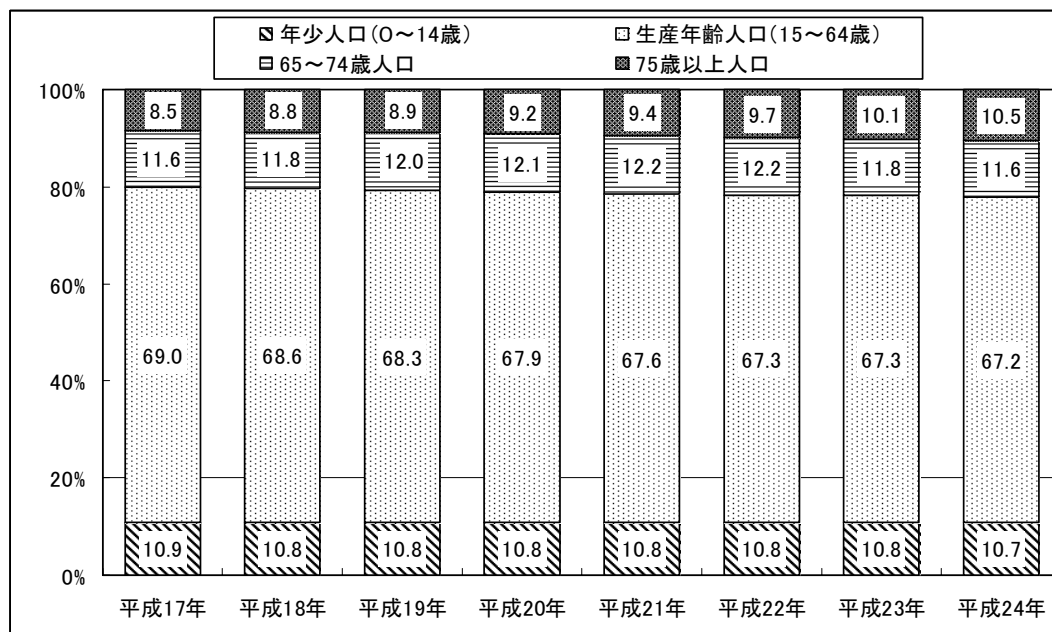


図1-2-2 年齢階層別人口構成比の推移 (各年1月1日現在)

出典：墨田区住民基本台帳 外国人登録者を含む

注) 総数には年齢不詳を含むため、構成比を積み上げた値が100%にならない場合がある。(下表1-2-1も同様)

表1-2-1 年齢階層別人口数及び構成比の推移

	実数(人)					構成比(%)			
	総数	年少人口(0~14歳)	生産年齢人口(15~64歳)	老年人口(65歳以上)	うち75歳以上	年少人口(0~14歳)	生産年齢人口(15~64歳)	老年人口(65歳以上)	うち75歳以上
平成17年	232,596	25,246	160,595	46,755	19,859	10.9	69.0	20.1	8.5
平成18年	234,375	25,378	160,777	48,220	20,549	10.8	68.6	20.6	8.8
平成19年	238,580	25,750	162,846	49,984	21,351	10.8	68.3	21.0	8.9
平成20年	242,120	26,262	164,356	51,502	22,267	10.8	67.9	21.3	9.2
平成21年	244,771	26,447	165,350	52,974	23,119	10.8	67.6	21.6	9.4
平成22年	247,914	26,705	166,929	54,280	24,082	10.8	67.3	21.9	9.7
平成23年	250,182	26,970	168,389	54,823	25,344	10.8	67.3	21.9	10.1
平成24年	250,249	26,887	168,046	55,316	26,219	10.7	67.2	22.1	10.5

² 総務省の「平成22年国勢調査結果 人口等基本集計結果 結果の概要」(平成23年10月)によると、平成22年の年少人口は、平成17年と比べ4.1%(71万8千人)減少している一方、老年人口は13.9%(357万4千人)増加している。

③人口動態

— 堅調な転入者数に支えられ、過去 10 年間の人口動態はプラスで推移しています —

○自然動態³のうち、出生者数は平成 18 年以降増加基調に転じていますが、死亡者数が、平成 16 年以降前年を上回る状況が続いた結果、自然動態は、死亡者数が出生者数を上回るマイナス傾向で推移しています。(表 1-2-2、図 1-2-3)

○一方、社会動態⁴は、近年は転入者数が転出者数を上回って推移しています。(同上)

表 1-2-2 人口動態の推移

		平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
自然 動態 (人)	出生者数	1,761	1,734	1,752	1,792	1,782
	死亡者数	1,982	1,934	1,969	2,036	2,075
	自然増減	△ 221	△ 200	△ 217	△ 244	△ 293
社会 動態 (人)	転入者数	12,710	12,960	13,234	14,210	13,905
	転出者数	11,334	11,363	10,979	11,052	11,616
	社会増減	1,376	1,597	2,255	3,158	2,289
増減人口(人)		1,155	1,397	2,038	2,914	1,996

		平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
自然 動態 (人)	出生者数	1,858	1,948	1,949	2,038	2,074
	死亡者数	2,192	2,207	2,231	2,115	2,311
	自然増減	△ 334	△ 259	△ 282	△ 77	△ 237
社会 動態 (人)	転入者数	15,983	16,057	15,929	17,002	16,528
	転出者数	11,947	12,688	13,317	14,140	14,267
	社会増減	4,036	3,369	2,612	2,862	2,261
増減人口(人)		3,702	3,110	2,330	2,785	2,024

出典：平成18年までは東京都「人口の動き」、平成19年以降は住民基本台帳による。

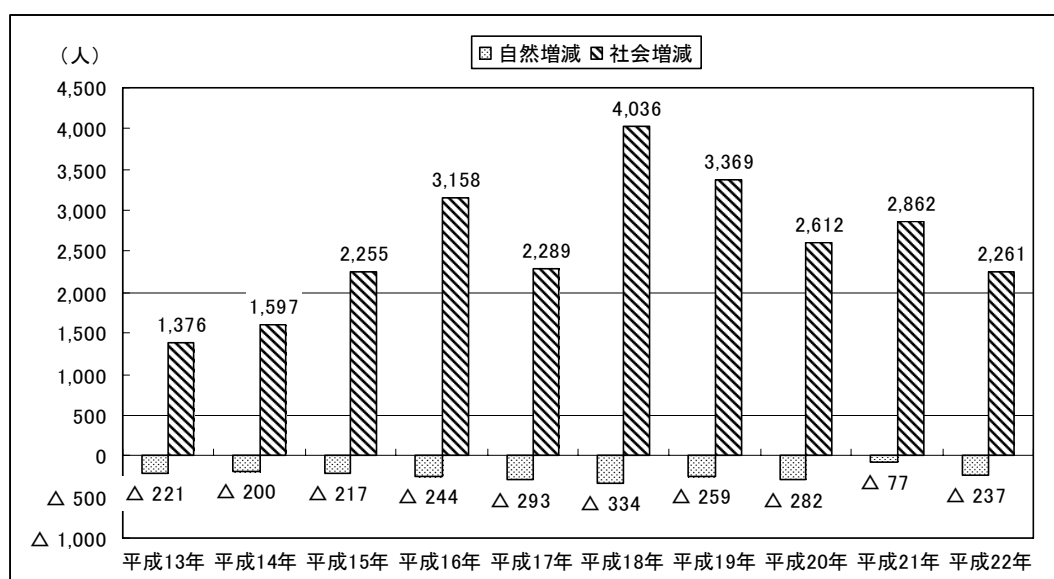


図 1-2-3 人口動態の推移

出典：平成 18 年までは東京都「人口の動き」、平成 19 年以降は住民基本台帳による

³ 一定期間における出生・死亡に伴う人口の動き。

⁴ 一定期間における転入・転出に伴う人口の動き。

(2) 町別

① 総人口

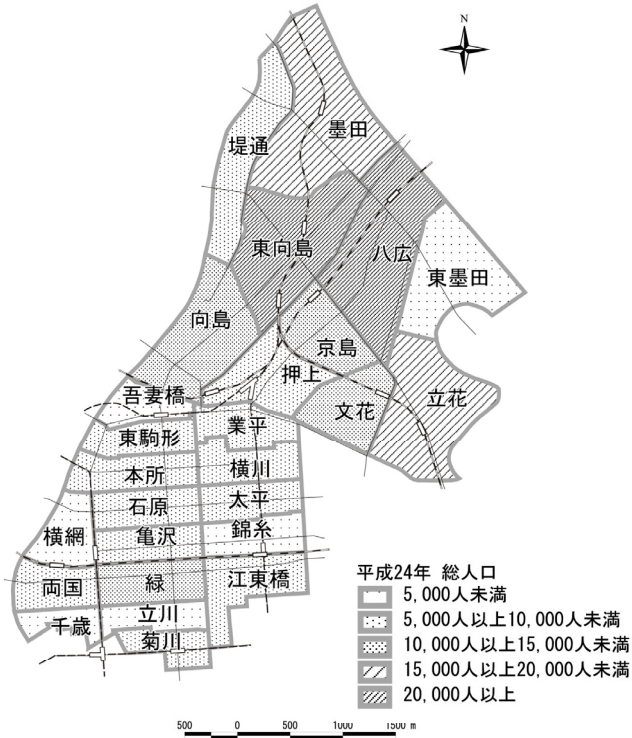


図1-2-4 総人口の分布状況
出典：住民基本台帳（平成24年1月1日現在）

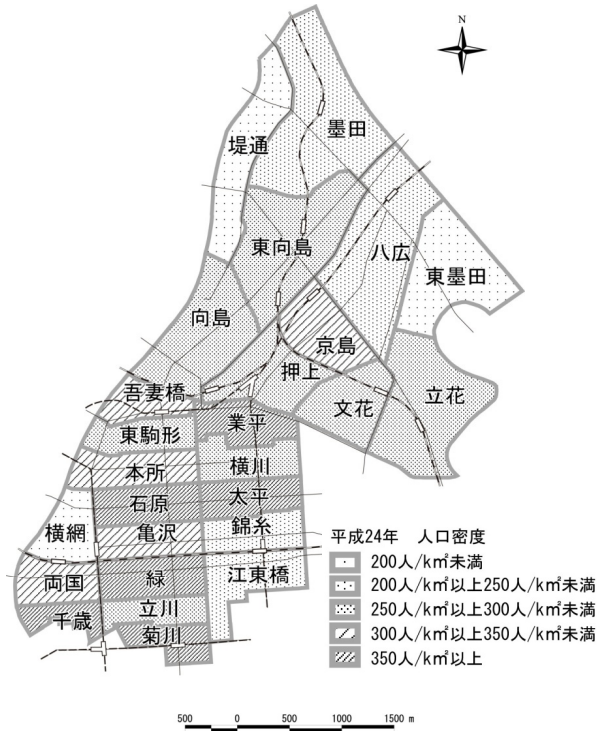


図1-2-5 人口密度の分布状況
出典：住民基本台帳（平成24年1月1日現在）